

令和2年度名古屋市立大学薬学部推薦入試A試験問題

(生命薬科学科)

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は1冊あります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
解答用紙は、問題1・問題2あわせて2枚です。
4. この冊子は試験終了後、持ち帰ってください。

問題1 以下に示すのは、科学技術社会論を専門とする研究者からの寄稿「研究者として SNS をどう使っていくか」からの抜粋である。文章を読み、設問に答えなさい。

科学と社会の信頼をつなぐ活動として 1990 年代半ばに英国で生まれたサイエンスコミュニ

中略

科学に基づいた安全基準について説明をすることです。

(東京大学 Kavli IPMU 教授 横山 広美、Nature ダイジェスト Vol. 16 No. 9 より引用)

設問 誰でも発信できる時代のなか、ソーシャルネットワークサービス (SNS) との関わり方について科学者が心得ておくべきこととは何か、自分の考えを 300 字以内で述べなさい。

問題2 次の文章を読み、その要旨を200字以内の日本語で記述しなさい。

More than 180 signatory countries to the Basel Convention, which regulates the movement

中略

local manufacturers are turning to biodegradable plastics and specialty paper products as an alternative to single-use plastic packaging.

Basel Convention : バーゼル条約、retailers : 小売店、curb : 抑制する
per capita : 一人あたり、U.S. : 米国

Nikkei Asian Review の記事 (2019年5月27日) より引用、一部抜粋・改変。
<https://asia.nikkei.com/Business/Business-trends/Global-angst-over-plastic-waste-spurs-Japan-to-act-on-packaging>